

海外安全対策情報（2024年1月～3月）

在バルセロナ日本国総領事館

1 社会·治安情勢

2024年1月から3月までの間に、治安に関して特筆すべき情勢は把握していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

スペイン内務省が発表した最新の犯罪統計によれば、2023年中における、スペイン国内での刑法犯認知件数（※）は24万5,659件で、前年同時期と比べ5.9%の増加となった。

※一般街頭犯罪及びサイバー犯罪の総数

州別の刑法犯（注１）増減率では、カタルーニャ州：＋５．６％、バレンシア州：＋３．９％と増加した一方、バレアレス州では－０．２％の減少となった。（注１）

罪種別では、バルセロナを例にしてみると、邦人被害の多い窃盗（注2）は前年比＋7.4%増となっており、主な刑法犯の中で発生件数が最多となっている。

ひったくりや、高級腕時計を狙った強盗など、被害者が負傷する暴力的事案の発生も散見され、注意が必要である。(下記(4)エ参照)

注1：サイバー犯罪は除く

注2：すり、置き引き等暴力を伴わないもの

なお、スペイン国内全体における、2023年中の主な刑法犯の増加率（前年比）は以下のとおり。

- ・強盗・恐喝（暴力を伴う窃盗）　　　　　　　　　　＋ 2. 2%
- ・すり・置き引き（暴力を伴わない窃盗）　　　　　　＋ 3. 3%
- ・侵入窃盗　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＋ 1. 2%

(ただし、住居内侵入窃盗は前年比－2.4%)

(2) 一般街頭犯罪のほか、スペイン内務省では、引き続きインターネット上でクレジットカードや銀行の暗証番号等の情報を盗み取る電子詐欺が近年特に増加しているとして注意を呼びかけている。クレジットカード情報や銀行の口座情報を安易にネット上でやりとりしない、不審なメールは開かず、安易にリンクをクリックしないなどの注意が必要である。(下記3「最近の邦人被害(7)参照)

(3) 各州及びバルセロナ市の、2023年の犯罪発生状況は、以下のとおり。(スペイン内務省発表。増減率は前年との比較)

●カタルーニャ州の犯罪発生状況（２０２３年）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2023 年	71 件	239 件	4,039 件	11 件	4,215 件	25,421 件	27,370 件	170,136 件	8,458 件
増減率	12.7%	18.9%	0.6%	22.2%	20.6%	1.5%	-2.2%	4.9%	14.1%

●バルセロナ市の犯罪発生状況（２０２３年）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2023 年	12 件	43 件	948 件	3 件	1,225 件	13,677 件	7,554 件	85,639 件	3,170 件
増減率	9.1%	2.4%	-4.5%	50.0%	28.3%	3.3%	11.8%	7.4%	10.4%

●バレンシア州の犯罪発生状況（２０２３年）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2023 年	34 件	162 件	3,415 件	15 件	2,385 件	6,067 件	18,368 件	76,375 件	3,231 件
増減率	-10.5%	18.2%	4.0%	50.0%	8.6%	7.1%	1.9%	7.1%	2.2%

●バレアレス州の犯罪発生状況（２０２３年）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2023 年	8 件	42 件	1,399 件	4 件	989 件	1,527 件	2,676 件	23,009 件	1,825 件
増減率	166.7%	16.7%	6.1%	0.0%	15.7%	20.0%	-8.7%	-5.9%	16.7%

（４）邦人被害発生状況

ア ２０２４年１０月から１２月までの間、当館で認知した邦人被害に係る各種犯罪の合計は３４件であり、２０２２年同時期より１８件増加した。

イ 事案別では、すり・置き引きが最も多い（２３件）。

ウ 置き引きは、レストラン、カフェ、空港での発生が多い。椅子の下などに荷物を置いて、気づかないうちに盗難に遭うケースが散見される。たとえ足元であっても、手荷物は常に目に届く場所に置き、身体から離さないことが重要である。

エ ２０２３年以降、被害者が負傷する強盗事案が増加傾向にある。害金品は、携帯電話やネックレス等の貴金属装飾品が主であり、発生場所はシウタ・ベリヤ（Ciutat Vella）からサンマルティ（San Marti）地区にかけてのビーチ付近が多い。

３ 最近の邦人の被害事案

（１）強盗

- ・路上を歩いていたところ、若者グループに暴行を加えられ、所持品を強取された。

- ・旧市街を歩いていたところ、突然男性に引きずり倒された上、所持品を強取された。

（２）ひったくり

- ・路上を歩いていたところ、所持品をひったくられた。

※特に高級時計、スマートフォン、高級貴金属は、ひったくりや強盗の被害品となりやすいことから、外出先では注意が必要である。

(3) 置き引き

- ・ホテルでのチェックイン手続き中や飲食店での飲食中に、足下や座席に置いていた所持品を盗まれた。

※テラスで食事中、椅子に置いておいた荷物を、車道を走行するバイクから持ち去られたケースが報告されている。

(4) すり

- ・交通機関での移動中や買い物中、気が付かないうちに所持品から貴重品類が抜き取られていた。

- ・路上を歩いていたところ、数人の男性に服が汚れていると声をかけられ、汚れを拭き取っている際に、地面に置いていたバックを盗まれた。

(5) パンク盗・車上ねらい

- ・高速道路で走行中や観光地周辺、空港において、タイヤがパンクしていることを指摘され車両を停車し確認のため降車している隙に、車内から貴重品が盗まれた。

- ・市内の地下駐車場に車両を駐車していたところ、車内が荒らされ旅券や貴重品が盗まれた。

(6) カード盗難・不正利用

空港内において「搭乗に必要な手続きをするのに、カード決済しかできず困っている。現金を渡すのであなたのカードで決済してもらえないか」等と声をかけられ、被害者が決済手続きをする間にカードをすり替えて窃まれた。またはカード情報を盗まれ不正利用された。

(7) 不動産・投資詐欺等

インターネットに掲載された不動産の貸主/売り主や、飲食店等の開業に関するコンサルタント等から「事前に手付金が必要」等と言われ、金を振り込んだものの、その後連絡が取れなくなるケースが報告されている。

4 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 2024年1月から3月までの間の発生はなし。

(2) スペイン内務省は、テロ警戒レベルを「レベル4（高い脅威）」（全5段階）を維持しており、治安当局によるテロ対策が強化されている。

※ 2024年4月現在、スペインでは、イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突を受け、テロ警戒レベルを「4」に維持しつつ、補完的措置としての対テロ警戒強化を実施している。

参考：2023年10月20日付領事メール「(在スペイン日本国大使館発出) テ

口の脅威に対する注意喚起」

<https://www.anzen.mofa.go.jp/od/ryojiMailDetail.html?keyCd=146084>

- (3) スペインにおけるテロ情勢詳細については、以下リンク（「スペインにおけるテロ・誘拐情勢」）参照。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_161.html

5 誘拐・脅迫事案

2024年1月から3月までの間に邦人被害の事件は認知していない。

6 日本企業の安全対策に対する諸問題

2024年1月から3月までの間に日本企業を対象とした各種事件や安全対策に対する諸問題は認知していない。